

# 元気! あおもり 一直線

2011 基本政策



アクティブ

# 自民党

青森県支部連合会



## **アクティブ自民党・あおもり**

---

内政、外交ともに一気に混迷を深めた日本は、活力が低下し、国益が損なわれ続けています。特に本県のような経済基盤が弱く、財政力の乏しい地域では、その弊害が顕著に現れ、その結果として将来への夢や希望を見失いつつあります。その中で自民党は、県内全市町村との連携をさらに強化して、厳しい財政環境のなかでもチカラを合わせ、すべての県民に直結した総合的で公正でダイナミックな政策を、県民の視点で果敢に実行して、県民の福祉向上を図ります。

---

## **自由民主党 青森県支部連合会**

# 景気対策

## 積極的な対策で、元気な青森を創りだします。

我が青森県の経済を支えているのは中小企業です。その中小企業が停滞しています。これを早期に回復させるために、積極果敢な経済対策に取り組みます。

われわれ自民党は、金融政策、財政政策、成長戦略等、あらゆる政策を総動員し早期のデフレ脱却と景気回復を図るとともに、地方ならではの資源を活かし、昨年12月に全線開業した東北新幹線のメリットを最大限に活用した企業誘致や観光産業の戦略的な振興も図ります。

活性化交付金の創設を求め、地場産業の振興を図ります。

中小企業の資金繰りを万全にする公的融資の枠組みを充実・強化します。

県内の地方公共団体とともに、積極的に企業誘致を図ります。

「地域資源を活かした豊かな産業の街づくり」を産業政策として掲げ、研究開発支援や産学官連携の促進を図ります。

再生可能エネルギー事業への県内企業の参入を促進するため、支援制度を創設します。

東北新幹線駅を拠点として、県内全域の観光産業の活性化とにぎわいを創出します。



東北新幹線全線開業をきっかけに、グリーンツーリズムをはじめとした滞在型の広域観光を推進します。

地域の資源・特性を活かし、地域で頑張る中小企業の販路開拓を支援します。

# 雇用対策

## 生活の安定と生きがいを 創りだします。

青森県の有効求人倍率は全国の最低レベルにあります。特に新規学卒者など若者の雇用環境は厳しさを増しています。そのため、雇用の維持と創出に万全の対策が求められています。雇用の安定にはまず景気回復です。そのためにも、雇用の受け皿となっている建設業など地元の中小企業対策および地場産業の振興対策に積極的に取り組み、雇用拡大を図ります。

雇用基金事業の平成24年以降の継続実施を求め、県内雇用の維持・安定を図ります。

成長分野である医療・福祉、農業の集約化・法人化による雇用の創出を図ります。

新規学卒者の県内就職促進、ジョブカフェ等における若年者雇用対策を進めます。

就職希望者の多い県内の学校において、職業体験の機会を増やします。

異業種への転職を考えている人や休職中の人を対象とした職業訓練を強化します。

離職者に対する再就職支援・生活支援を徹底します。



# 地域医療 サービス

## 県民の命を守る 安心医療を充実させます。

青森県の医師不足は深刻で、いまだに短命県という汚名を払拭できていません。大学医局からの医師派遣の減少と、過重勤務等による勤務医不足などの影響で、県内多くの自治体病院が経営悪化と医師不足の両面で多大な苦勞を強いられています。この医師不足の解消に全力で取り組みます。

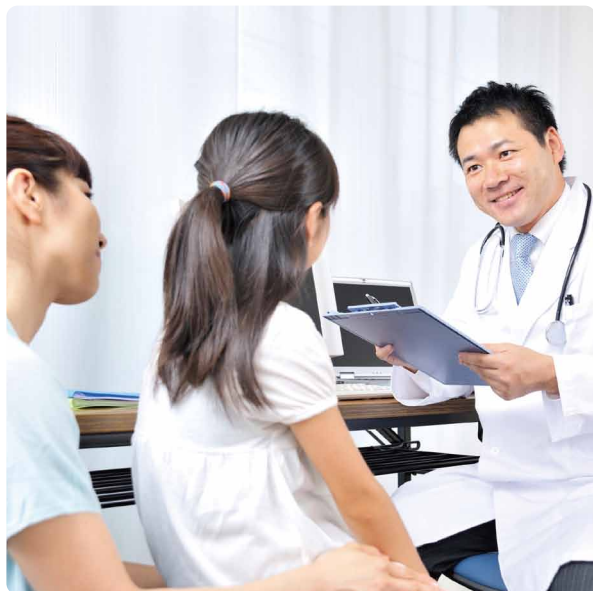
さらに最大の死亡要因であるガンについて、予防、治療のためのガン検診率の向上、先端医療の導入、緩和ケアなどにも積極的に取り組みます。

さらに広い県土で誰もが公平に受けられる救急医療体制の確立のためにわれわれ自民党の働きかけで、八戸市民病院に県内初めて配備したドクターヘリの2機体制、およびドクターカーの整備を進めて、緊急搬送の県内1時間体制を実現します。

各地域の自治体病院の機能を再編成し、よりの確な医療サービスの実現を図ります。

地域医療の確保・充実と、産科・小児科などの特定診療科の医師確保のため、積極的な支援を実現します。

ドクターヘリ運航体制の充実など、ハード・ソフトの両面から救急医療提供体制の整備を進めます。



社会保障制度改革に当たっては、弱者切り捨てや地方負担増を認めません。



# 未来を担う 人づくり

## 未来を担う子どもたちが、夢と希望を抱ける教育環境をつくります。

子どもたちへの教育に地域格差が生じないよう、きめ細やかな指導を行い、高いレベルの学力と規範意識の向上を目指します。

私立学校の教育条件の維持と向上、公立との教育費負担の格差解消し、保護者の経済的負担の軽減も図ります。

スポーツによる心身の健全な発育を促し、子どもから高齢者まですべての県民がスポーツに親しみ、競技力の向上が図れる環境を整えます。

文化芸術に触れる機会を創出して、ゆとりとうるおいを実感できる、こころ豊かな生活を実現させます。

「子ども手当」の県・市町村からの財源を求める約束違反をやめさせます。

財源なきバラマキである子ども手当は撤回し、全ての家計に公正な配偶者控除、扶養控除を復活した上で、真に必要な家庭への給付制度を構築します。

少人数学級編制の拡大を図ります。

事業所内託児所の設置など、企業などの子育て支援の取り組みに対する優遇措置を講じます。

介護福祉分野、看護医療分野など人材が不足している業種の人材育成を進めます。

本県が優位性を持つスポーツ分野での選手強化のための環境整備を進めます。



## 安全・安心な「エネルギー供給県」であることを全国に発信します!

原子燃料サイクル施設、原子力発電所、国際核融合エネルギー研究センター、そして全国一位の導入量を誇る風力発電など、日本のエネルギー政策に大きく貢献し、その根幹を担っている青森県として、これらを活用した地域活性化と産業振興を図ります。

また、原子力の安全対策については、国と事業者責任ある対応を求めます。

●「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」の拡充・延長を図ります。



# 農林 水産業の 振興

## 日本の食を支える青森県を しっかりと支えます!

農林水産業は青森県の基幹産業で、県内経済の元気の源です。しかも、食料自給率が全国で第4位という、日本の食を支える食料供給県です。この大切な産業を守り、育てるために、これまで取り組んできた総合販売戦略をさらに促進しながら、農・商・工が連携

した第6次産業化、担い手対策、持続的に営農できる生産体制や生産基盤の強化に努め、「攻めの農林水産業」を積極的に展開します。

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）への参加については、断固反対します。

循環型社会の実現に向けた、基盤整備を確保する「環境公共型」の事業を推進します。

高齢化が進行している農林漁業分野の担い手の確保・育成を強力に進めます。



## 農業対策

- 財源なきバラマキである戸別所得補償制度を廃止し、農林水産業の多面的機能を評価した「日本型直接支払い」の創設を図り、魅力ある農業振興策を実現します。
- 遊休農地の解消を進め、食料自給率の更なる向上を図ります。
- 農地復活や転作を促すため、「土づくり」を支援する政策を推進します。
- 果樹りんご経営支援対策の拡充と価格安定制の創設を目指します。
- 新規需要米(米粉用、飼料用米)の開発を支援します。
- 「攻めの農林水産業」販売拡大のため、異業種交流のイベント開催や経営コンサルタントを依頼する場合などに活用できる補助、貸付制度をつくります。
- 家畜伝染病の予防対策については万全の体制を構築します。
- 畜産・酪農対策の充実を図ります。



## 水産業対策

- 栽培漁業の推進および活魚畜養施設の設置を推進します。
- 漁船漁業の再生に向けた取り組みへの支援を行います。
- むつ湾をはじめ県内海域の環境改善に取り組みます。
- 水産物の輸出をはじめとする加工流通を促進します。



## 林業対策

- 木材自給率50%を目指して、公共施設や住宅建築に係る県産材の積極的な利用を促進します。
- 木材の流通港湾としての七里長浜港の活用を進めます。
- 地域材の利用促進を通じて、森林資源の循環利用を推進します。



# 地域 インフラ

うるおいとゆとり、にぎわいの  
ある地域を創りだします。

自然豊かな青森県を「真に魅力ある地域」とするためにも、「安全・安心」に基づいた暮らしのうるおいと、にぎわいを創り出すために、また地球規模での課題とされる低炭素社会づくりのためにも、着実な社会基盤の整備に取り組みます。

公共下水道事業の整備促進や浸水対策、地震対策、老朽化の進んでいる施設の長寿命化対策を実施します。

津軽ダムの早期完成と直轄河川事業（岩木川、馬淵川、高瀬川）の治水対策を促進します。

大幅に減額された国の予算の増額を求め、学校・公共施設の耐震強化を早急に進めます。

北東北の国際物流拠点港として重要な役割を担う八戸港の重点整備と機能強化を図ります。

青森港新中央埠頭の整備促進、コンテナ化の早期実現を推進します。

無電柱化、電柱の地中化を図り、都市の景観形成を推進します。



都市計画道路の整備を促進します。

交流人口拡大効果が望める屋内スケート場の建設を推進します。

# 広域 ネットワーク

## 東北新幹線全線開業を活かして 経済と暮らしを守ります。

県民にとって長年の悲願であった東北新幹線が全線開業しました。観光資源が豊富な青森県にとっては、大きな経済効果が期待されます。

この開業効果を最大限に活用するために、新幹線と既存の交通ネットワークをしっかりと結び、本県への訪問手段の選択肢を多くすることで、観光、産業面での経済効果を高めます。

上北横断道路・津軽横断道路の整備促進を図ります。

八戸・久慈自動車道路の整備促進を図ります。

地域高規格道路「下北半島縦貫道路」の整備促進を図ります。

高規格幹線道路・東北縦貫自動車道八戸線の未共用区間の整備計画区間への格上げと整備促進を目指します。

国道103号「青撫山バイパス」の整備を国直轄権限代行で進めます。

国道279号の国直轄管理区間編入を目指します。

西十和田トンネル(仮称)の整備着手を目指します。

事業仕分けで休止された国道7号浪岡バイパス全線を早期完成します。

一般国道104号田子町夏坂と一般国道103号鹿角市大湯間のバイパスルートを整備促進します。

函館～大間フェリー航路の存続に向けた支援を充実します。

青森空港・三沢空港発着路線の維持・拡大を図ります。

JR奥羽本線の複線化と高速化の早期実現に取り組めます。





アクティブ  
**自民党**  
青森県支部連合会

〒030-0803 青森市安方一丁目10-16  
TEL 017-723-2454 FAX 017-777-5090  
ホームページ <http://www.jimin-aomori.jp/>

自由民主党青森県支部連合会に対する  
ご意見・ご要望をお寄せ下さい。